参考資料3

大阪

大学×大阪府プロジェクト

学

- ・大学と行政がタッグを組んで、社会課題の解決に向けてアプローチ
- · 大学が有するシーズと行政の持つフィールドなどをかけ合わせ
- ⇒ **社会課題の解決と研究成果の実証や学生の教育**を同時に実現

■これまでの課題

大学

- ・研究成果を実証したい
- ・学生に教育や研究の場を提供したい
- ・行政の持っているデータを活用したい
- ・自治体と共同プロジェクトの補助金 を獲得したい
- ・地域(自治体)とのつながりを強めたい

大阪府

- ・先生や学生の知見をもらいたい
- ・調査や研究に共同で取り組みたい
- ・AIやドローンなど先端技術の活用を 検討したい
- ・授業やゼミで取り上げてもらい学生の 意見を聞きたい

■ 28年度からの取組み

- ・先生の知見
- ・研究シーズ
- ・教育の場
- ・学生の力

大学

win Win

大阪府

・フィールド

・データ

・施策

• 予算

大学事務局と企画室が連携してマッチング

相互の強みを持ち寄り社会課題の解決を推進

〈大学のメリット〉

- ・ 研究の推進
- ・ 成果の実証
- ・ 学生の教育の場の確保
- ・ 地域とのつながりの強化 etc

〈府のメリット〉

- ・ 新たな政策の立案
- ・ 施策の改善
- · 府政への関心の向上 etc

<問合せ先>

大阪府政策企画部企画室計画課 06-6944-6205(直通)

担当:栗田